

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品の名称 ユニチカ ナイロン6 F1025 32
会社名 ユニチカ株式会社
住所 〒103-8321 東京都中央区日本橋本石町4-6-7 日本橋日銀通りビル
〒541-8566 大阪府大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-2-7 錦センタービル
担当部門 樹脂事業部 エンプラ営業部
電話番号 (東京) 03-3246-7598 (大阪) 06-6281-5541 (名古屋) 052-971-3781
FAX番号 (東京) 03-3246-7569 (大阪) 06-6281-5849 (名古屋) 052-971-3786
緊急連絡電話番号 0774-81-2396 【樹脂事業部 樹脂品質保証部】
推奨用途 成形材料

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類基準に該当しない

3. 組成及び成分情報

化学物質／混合物の区別 混合物

化学名	含有量	官報公示整理番号	CAS No.
ポリカブラミド	>95%	7-357	25038-54-4
酸化チタン	0.1～1%	1-558	13463-67-7
カーボンブラック	0.1～1%	5-5222	1333-86-4
添加剤	<3%	-	-

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 チップ・粉塵の場合は水と石鹸を用いてよく洗浄する。皮膚の外観に変化が見られたり、刺激を感じた場合は医師の診断を受ける。
溶融物の場合は直ちに清浄な水で冷やす。皮膚上に固まった樹脂を無理に剥がさない。火傷があれば医師の診断を受ける。

眼に入った場合 水で良く洗い、異常のある場合は医師の診断を受ける。
溶融物の場合は直ちに清浄な水で15分以上冷やすと同時に洗浄し、医師の診断を受ける。

吸入した場合 溶融物のガスを吸って気分が悪くなった場合は、新鮮な空気のある場所に移し回復を待つ。回復しない場合には医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 少量の場合には自然排泄に任ず。大量の場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 水、粉末、二酸化炭素、泡等一般消火剤。
使ってはならない消火剤 情報なし
特有の危険有害性 燃焼時には一酸化炭素、二酸化炭素の他にシアン化水素、アンモニア等を含むガスを発生する恐れがある。
消火を行う者の保護 状況に応じた手袋、眼鏡、防火衣等を着用する。
有毒ガスやヒュームが発生する恐れがあるので、適切な呼吸用保護具（送気マスク、自給式呼吸装置等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 道路や床にこぼした場合、転倒の恐れがある。
保護具及び緊急時措置 必要に応じ、保護具を着用する。

環境に対する注意事項	排水系などに漏出した場合は、野生生物、魚類等の摂取により環境に害を及ぼすことが予想されるので速やかに全量回収する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	道路や床にこぼした場合、速かに乾式で清掃し、容器に回収する。 溶融物が漏出した時は、空冷にて十分冷まし、凝固した後に回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	荷崩れ防止や落下防止等、一般的な製品取扱い上の注意をする。 加工時は発生ガス/粉塵を吸入しないようにする。また、高温樹脂には直接触れないようにする。 長時間、高温の状態で滞留させない。 粉末状の樹脂を取り扱ったり、機械加工時に粉末が発生する場合、粉塵爆発の可能性があるので、空送配管・設備、バグフィルター、ホッパー等にはアースを設け、静電気を除去する。
保管	重量物のため、過度の段積み Avoid して荷崩れを防止する。 熱や発火源から遠ざけ、直射日光・高温多湿を避けて保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度	日本産業衛生学会、ACGIHともに設定されていないが、次の値を採用するのが妥当と考えられる。
日本産業衛生学会	第3種粉塵 吸入性粉塵 2 mg/m ³ 総粉塵 8 mg/m ³
ACGIH	PNOS (Particles Not Otherwise Specified) respirable 3 mg/m ³ inhalable 10 mg/m ³
設備対策	加工時には発生するガス、粉塵、ダスト等を捕集し排出させる局所排気装置等を設ける。
保護具	呼吸用保護具 常態では不要。多量に高温ガスの発生を伴う作業時には「5. 火災時の措置」の記載に準じた保護具を着用する。 また、粉塵の発生を伴う作業時には防塵マスクを着用する。 手の保護具 常態では不要。 溶融樹脂を取り扱う時には、断熱性のよい保護手袋を着用する。 眼の保護具 高温ガスや粉塵の発生を伴う作業時には、ゴーグル型保護眼鏡を着用する。 皮膚及び身体の保護具 通常の作業着でよいが、高温の溶融樹脂を取り扱う場合には、長袖の作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	固体(ペレット状)
臭い	なし
融点	220°C
沸点、初留点及び沸騰範囲	知見なし
引火点	知見なし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	知見なし
蒸気圧	知見なし
比重	約1.1 ~ 1.2
溶解度	水に不溶。強酸に可溶。
自然発火温度	400°C以上
分解温度	知見なし

10. 安定性及び反応性

反応性・化学的安定性	常温で安定。
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	火気付近での使用。直射日光・高温多湿な場所での保管。

混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	熔融時には一酸化炭素、二酸化炭素の他にシアン化水素、アンモニア等を含む有害ガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性	知見なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	知見なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	酸化チタン: 区分2B また、熔融時に発生するガスは刺激性あり。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	酸化チタン: 区分2 カーボンブラック: 区分2 IARCの発がん性区分ではNylon6としてGroup3(人に対する発がん性が分類できない)に分類されている。
生殖毒性	知見なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	知見なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	カーボンブラック: 区分1(肺)
呼吸性呼吸器有害性	知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性	知見なし
残留性・分解性	知見なし
生体蓄積性	知見なし
土壤中の移動性	知見なし
オゾン層への有害性	知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	焼却する場合は、「大気汚染防止法」等に適合した焼却設備を用いて焼却する。又は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、公認の処理業者にて処理をする。
汚染容器及び包装	内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制	国連番号 非該当 国連分類 非該当 海洋汚染物質 非該当
輸送上の安全対策	梱包袋は重量物のため、荷崩れ防止に注意。 破袋してペレットが飛散したときは滑って転倒しない様に注意する。

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	(酸化チタン、カーボンブラック) 第57条の2第1項に定める名称等を通知すべき危険物及び有害物
毒物及び劇物取締法	該当しない
廃棄物処理法	産業廃棄物 廃プラスチック類に該当

16. その他の情報

問い合わせ先 (緊急連絡先に同じ)	
樹脂事業部 樹脂品質保証部	
〒611-0021 京都府宇治市宇治樋ノ尻31-3	

《電話番号》0774-81-2396 《FAX番号》0774-25-2357

注意

本SDSは、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取り扱いにはご注意ください。

SDSの記載内容は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

記載内容は情報提供であって保証するものではありません。

注意事項は通常の取り扱いを前提としたものであり、個々の取り扱いにおいては、適切な安全対策、処置をとられますようお願いします。

参考文献

- 1) 樹脂ペレット漏出防止マニュアル プラスチック関連諸団体(監修:通商産業省) 平成5年5月
- 2) 許容濃度等の勧告 産衛誌57巻(2015)
- 3) ACGIH 2010 TLVs and BEIs
- 4) IARC Monographs on the Evaluation of Carcinogenic Risks To Humans
List of classifications, Volumes 1-115
(http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/latest_classif.php)
- 5) (独)製品評価技術基盤機構(NITE) GHS関係各省による分類結果
(http://www.safe.nite.go.jp/ghs/all_fy.html)